

要 点 録

会議の名称	第2回田村駅周辺整備基本構想推進会議
開催日時	平成29年8月1日(火)午後3時00分～午後5時03分
出席者	仁連 孝昭 滋賀県立大学 名誉教授 綺田 新 田村町自治会 自治会長 辻村 忠嗣 田村町まちづくり委員会 委員長 井 経子 社会福祉法人石龍会 チャイルドハウス 園長 川崎 他家廣 長浜地方卸売市場株式会社 代表取締役 本田 智見 一般社団法人長浜青年会議所 新湖北創造委員会 副委員長 松本 秀章 滋賀文教短期大学 副学長 若林 浩文 長浜バイオ大学 理事長 伊藤 寿彦 六荘地域づくり協議会 総務部長
欠席者	畑下 嘉之 社会福祉法人青祥会 理事長 西島 照毅 滋賀県長浜土木事務所 所長 <p style="text-align: right;">(敬称略)</p>
事務局(長浜市)	長浜市都市建設部：米澤部長 中川技監 長浜市都市建設部都市計画課田村駅周辺整備室：嶋田課長兼室長 塚田副参事 長浜市都市建設部都市計画課：丸山主幹
会議概要	1 開会 会議を公開とすることについて報告 2 あいさつ 長浜市都市建設部 米澤部長 3 第1回推進会議の結果について 第1回要点録で結果を報告する。また、前回の質問事項について回答する。 4 議事 1) 基本構想想定区域の段階的整備のイメージについて － 仁連アドバイザーから説明 － 2) 具体的な都市施設の整備について － 1) の中で説明 －

3) 主な質疑、意見等 (○：アドバイザー、・：参加者、→：事務局)

→段階的整備のイメージは、バイオ大学や市場などの意見を聞いた上で作成されたものではなく、アドバイザーが考えられた内容を提案していただいたものです。参加者の方には直接影響する部分もありますが、夢のある内容として議論いただきたい。次回、推進会議（案）としてまとめ上げていきたいと思っているので、忌憚のない意見を願います。

<田村駅乗降客数について>

・3,000人/日の要件に対する市の取組を教えてください。

→乗降客数3,000人/日が駅舎改築の必須条件ではないが、駅改築に向けて推進力がつくので、3,000人/日の乗降客数に向けて取り組んでいきたい。

<大規模開発について>

・高橋町と寺田町はどのような反応だったか。

→長い目でみると開発の可能性を閉ざすことはないという反応でした。

・2代3代と住み続けてもらえる地域にするためには、教育環境が重要だと思うので、周辺の小中学校のエリアを含めて描けないか。

→田村駅周辺での生活圏域を示しながら、どういうふうに進展していくべきか併せて議論していく。この地域に何があるのか、もう少し広い範囲の地図のようなものが必要と思っている。

<駅機能について>

・駅利用者の安全面を配慮して、駅員でなくても地域のボランティアの方でもよいので、学生が利用する時間帯だけでも誰か人がいた方がよい。

→駅はもう少し高機能にしていく必要がある。駅の具体的な機能については、次回で示したい。

・ホームが非常に狭いので、今回の駅舎改築とともにホームも改修されるのか。

→ホームが狭いということは認識している。具体的にどこからどこまではこれからである。

<長浜地方卸売市場について>

・将来的には移転せざるを得ないという思いをしているが、その時期は体力がないため何とも言えない。市場施設の耐用年数はあと4年だが、まだ4,50年もつ予定をしている。売上が当時と比べて半分になっている状況での移転はとてできない。市場間の統合も棚上げ状態です。

○移転ありきではなく、現地に留まって市場機能自体が変わってくるのが再開発計画の中に含まれると思っている。

<田村山の整備について>

・田村山は見晴らしがいいので親子で遊べる施設があればよい。田村駅の利用者も増えると思う。

○集客施設でなく、地元の人が日常的に散策を楽しめる場所として、地元に住んでいる人がいいと思える田村山にしてはどうかという提案です。

→みなさんの意見を頂きながら、公園として利用できる環境を検討していきたい。

<公共施設の整備について>

・市では公共ホールといった施設が必要という話になっているのか。

- 駅周辺に集客施設が必要という提案として理解している。バイオ大学の敷地に駐車場が記されているが、これは市が整備するのではなく、バイオ大学に整備してもらいたいイメージ。
- ・駐車場が空いているのは事実なので、資金面がクリアできれば可能性はないことはない。

<田村駅周辺整備の費用について>

- ・整備費用をどういう形で市は考えているのか。民間として協力するが、財政的な負担が生じる。
→お金のことを先に言ってしまうとイメージがすごく縮小されてしまうので、今の段階で長浜市がお金を用意していることはありません。

<田村駅周辺の将来像について>

- ・田村駅がどういう形で整備されるのか、駅のイメージが出てから、駅と併せてランドデザインを描いていくことになると思う。住民に対しても、まちの将来イメージが必要になると思う。
→田村駅を核としたまちづくりのイメージがあって、それに見合うような駅づくりをする。どのような人がどういう住み方をするのかイメージづくりを先にしたい。田村駅は長浜の一つの大きな南玄関口として位置付けざる施設のため、大きなイメージの中で考えていく。
- ・具体的な提案を出していただいて、それを受けて次につなげてほしい。
→これは市が作るのではなくて、推進会議でまとめていただいたものを市が受け止めたい。
- ・平成 21 年に市街化区域編入の話があり随分時間が経過していて先が見えない不安感がある。土地利用等全体像を見せてもらえると手をつけられないようになると思う。将来像が示せないの制限がかけられず対応に困っている。町民の意識も売ってしまおうというように意識が変わってきている。最終的に長浜市が人口のダム機能と言うのであれば、時間をおかずに実行力と財政的な支援をお願いしたい。市等が買うという担保があると虫食いにならない。
→市街化区域の中も土地利用の色分けが必要と思っている。
- ・地域の中学生とワークショップを行って、夢を形にしていきたい。

<報告>

- ・町内に分譲宅地の開発計画があり、現在農地転用の手続き中。町内では説明会等も終わり、特別な反対意見もなく規制もかけられないということで開発を認めている。もう 1 点、竹藪のところに駐車場計画の案が出てきていますので、民間の力を使ってやっていこうと思っている。
○田村駅前で公共施設をいろいろ考えたが、他にいい場所がない。市場も考えたが駅に隣接している南側がよい。駅の機能を設計していく上でも重要でそこを住宅地にするとかかなり駅整備の性格が変わってくるという気がしており、かなりキーになる場所だと思っている。
→今日の意見を踏まえて、仁連先生のアドバイスをいただきながら、次回の会議で推進会議（案）を出したい。

5 その他

第 3 回推進会議は、平成 29 年 9 月下旬から 10 月初旬を予定している。
(詳細の日程については後日調整)

以上